



富士見

富士見小学校校長

共に学び 共に育つ ～相手を尊重する言葉を通して～



本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今年の干支は午（うま）です。馬は、常に前進し、後ろを振り返らないことなどから、夢に向かって突き進むことができる年である、などと言われています。子供たちには、目標を決めたり、新しいことに挑戦したりするなど前向きに進んでいき、目標を達成していったほしいと願っています。

1月8日（木）冬季休業を終えて学校が再開しました。今年度もはやいもので、残り3か月となりました。一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。

また、保護者のみなさまには、今年度の学校評価についてご意見を伺いたく、さくら連絡網で配信しております。子供たちのよりよい成長に向けて尽力してまいりますので、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

学校教育目標に向けて⑧（席書会の四字熟語から）

本校では、年が明けたこの時期に、国語の授業の一環として日本の文化を継承していくことも踏まえ席書会を行っています。

1・2年生は硬筆、3・4年生は毛筆で半紙に、5・6年生は、条幅紙で四文字を書くことにしています。

書き初めは、新年に目標となる言葉を決めて書き、それに向かって1年間努力すると願いが叶うといういわれがあります。それにならい、6年生は、自分の目標について、四字熟語から選ぶことにしました。「獅子奮迅」（勉強やサッカーを全力で取り組みたいから）「沈思黙考」（静かに黙って深く考えたいと思ったから）「百折不撓」（何度失敗してもくじけずに、何事にも挑戦していきたいから）など一人一人思いは違います。

選んだ言葉を心に刻み、残りの小学校生活を楽しんで、中学校に向けてがんばってほしいです。



【 オリンピック選手との出会い 】

12月23日（火）ロンドンオリンピックに出場した、男子体操の田中和仁さんが来校し、ゲストティーチャーとして、5年生に器械運動（マット運動）を教えてくださいました。

田中さんは、平行棒を得意とし、ロンドンオリンピックでは、団体種目で銀メダルを獲った方です。

はじめに、田中さんの演技を映像で見せてもらいました。まっすぐに伸びた姿勢の美しさに子供たちは感嘆の声をあげていました。

また、体操への思いや考えなども聞かせてくださいました。その後、前転や後転などを練習しました。田中さんのちょっとしたアドバイスで、子供たちの演技はともしなやかになりました。

メダルをもってきてくださり、触らせていただきました。本物のオリンピックメダルを見たり触ったりできる体験もでき、とても有意義な時間になりました。





【遠くに跳ぶ楽しさ（4年）】

4年生の体育「幅跳び」の学習です。

片足で力強く踏み切り、遠くへ跳ぶようにしていきますが、生活の中では、あまりしない動きでもあるため、様々な場の工夫をしています。踏み切るところに跳び箱で使う踏み切り板や一段目の部分を置いて、強く踏み切ることを意識させます。また、

目線をあげて遠くへ跳ぶようにするために柔らかいゴムを跳びこえるような工夫もしています。

練習を重ねていくうちに、子供たちは少しでも遠くへ跳びたいという気持ちが強くなり、また、どれだけ跳ぶことができたかも気になるようになりました。

教師が指示しなくても、子供たち同士で、計測し合うことは始めています。「〇〇さん、すごい距離跳んでるよ！」などとお互いにがんばりを伝えている姿が、とてもほほえましいです。



【地域をよりよくしよう】

6年生は家庭科の学習で、地域の一員としてできることを考え実践しています。先日は、富士見公園と周辺のごみを拾いました。日ごろ、自分たちが使っている公園にゴミがたくさん落ちていることに気づくとともに、改めて自分の行動も振り返りました。

そこで、地域にゴミがなく、また、住みやすくするためにポスターをつくりました。ゴミのポイ捨て禁止、公園のルール遵守、

騒音、迷惑行為、車の運転者への左右確認の呼びかけなど、たくさんの視点を見つけました。

地域の一員として、そして、学校の最上級生としての心構えをみせてくれています。地域を大切にすることをずっと持ち続けてほしいです。



関わり

♪音楽朝会（1・2年生）

12月17日（水）に2年生、1月14日（水）に1年生が音楽朝会で発表をしました。

2年生は、歌と合奏の計2曲を披露しました。歌は、「手のひらを太陽に」を歌詞に出てくる昆虫などの絵を掲げながら、体育館いっぱいに広がる声で歌いました。

1年生も歌2曲と合奏の計3曲を披露しました。合奏は、4月から練習してきた鍵盤ハーモニカと打楽器を使って演奏しました。鍵盤ハーモニカは立奏できるほど上手になりました。

一生懸命演奏する1・2年生に、上学年も一生懸命耳をすませて聴きました。そのがんばりを素敵な言葉にして感想を伝えていました。

